平成 25 年度学校保健統計調査結果【速報】

大阪府総務部統計課 勤労・教育グループ

《 詳細は大阪府ホームページに掲載しています。http://www.pref.osaka.lg.jp/toukei/hoken/index.html 》

平成25年12月20日に、平成25年度学校保健統計調査速報(大阪府分)を取りまとめましたので、 その概要を紹介します。

なお、この数値は速報値であり、後日(平成 26 年 3 月)文部科学省から公表される「学校保健統計調査報告書」の数値が確定値となります。

~ 発育状態 ~

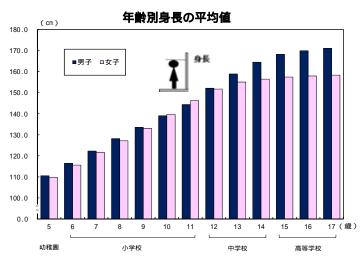
1 身長・体重

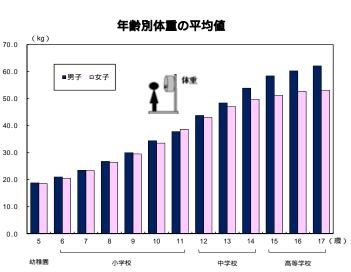
(1)全国との比較

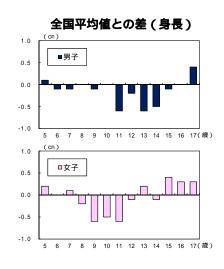
- 男女ともに全国値よりやや低い傾向 -

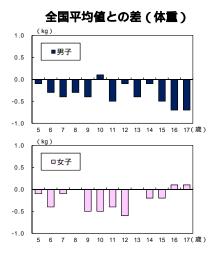
大阪府の幼児、児童及び生徒の身長を年齢別に全国と比較してみると、男子は5歳と 17 歳を除き、女子は5歳、7歳、13歳と15~17歳を除き同じか下回っています。

また、体重では男子は10歳を除き、女子は16歳と17歳を除き同じか下回っています。







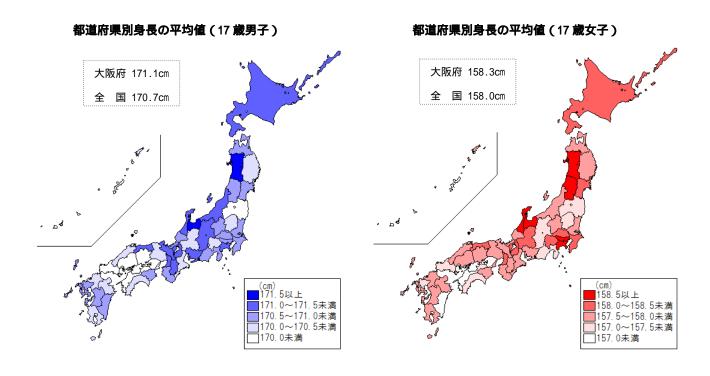


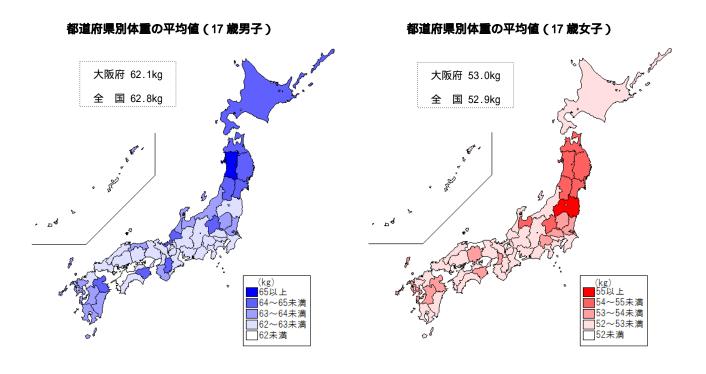
(2)都道府県別の比較(17歳の平均値)

男女ともに身長は東北・北陸・関東地方で、体重は東北地方で高い傾向

17 歳の身長を都道府県別にみると、男子は富山県 171.8cm、秋田県 171.6cm、神奈川県 171.3cm、女子は秋田県・神奈川県・富山県 158.8cm、東京都 158.6cm の順で、大阪府は男子が 171.1cm、女子が 158.3cm で男女ともに 7 番目となっています。

また、体重では男子は秋田県 65.2kg、宮城県 64.9kg、岩手県 64.7kg、女子は福島県 55.3kg、秋田県 54.6kg、青森県 54.3kg の順で、大阪府は男子が 62.1kg で 42 番目、女子が 53.0kg で 18 番目となっています。

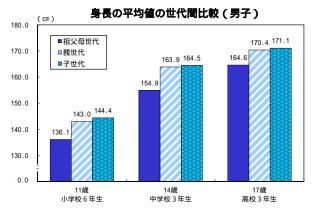


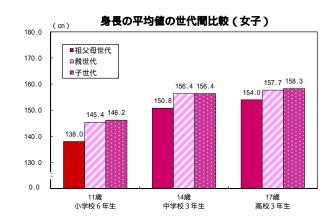


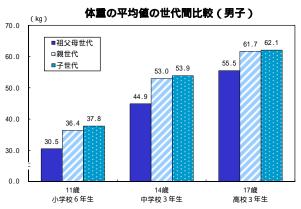
(3)世代間の比較

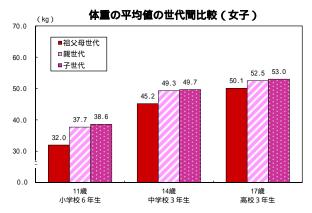
- 「親の世代」と「子の世代」の間では増加の幅は小さい -

「子の世代」、「親の世代(30年前の昭和58年度調査の数値)」、「祖父母の世代(55年前の昭和33年度調査の数値)」を比較してみると、全体的には「親の世代」は「祖父母の世代」と比べ大きく増加しています。「子の世代」も「親の世代」と比べ増加していますが、「親の世代」と比べると増加の幅は小さくなっています。







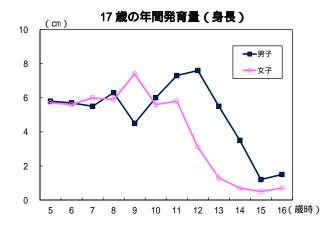


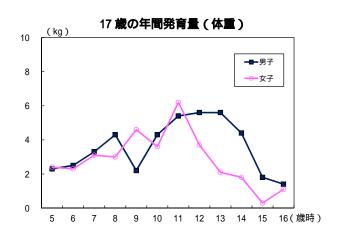
2 年間発育量

- 発育量が最大となる時期は女子の方が男子より身長で3年、体重で1年早い-

17歳(平成7年度生まれ)の者の5歳時からの年間発育量をみると、身長の発育量が最大となる時期は、男子は12歳時で7.6cm、女子は9歳時で7.4cmとなっています。

また、体重では男子は 12 歳時と 13 歳時で 5.6kg、女子は 11 歳時で 6.2kg となっており、身長・体重ともに女子の方が男子に比べ早く最大の成長期を迎えています。

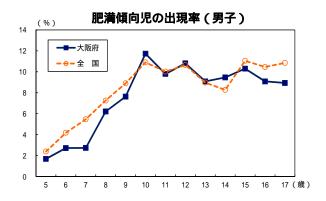


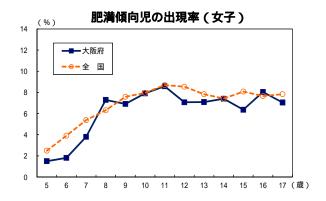


3 肥満傾向児の出現率

- 男女ともに全国値よりやや低い傾向 -

肥満傾向児の出現率を全国と比較してみると、男子は 10 歳と 12~14 歳を除き、女子は 8 歳と 16 歳を除き全国を下回っています。





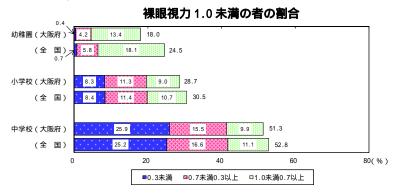
~健康状態~

主な疾病・異常等の被患率の状況

1 裸眼視力 (1.0 未満の者)

- 全国値より低い傾向 -

「裸眼視力 1.0 未満の者」の割合は、幼稚園 18.0%、小学校 28.7%、中学校 51.3%で、いずれも全国を下回っています。



2 むし歯(う歯)

- 全国値より低い傾向 -

「むし歯(う歯)」の者の割合は、幼稚園 39.3%、小学校 52.5%、中学校 41.8%、高等学校 51.9%で、いずれも全国を下回っています。

